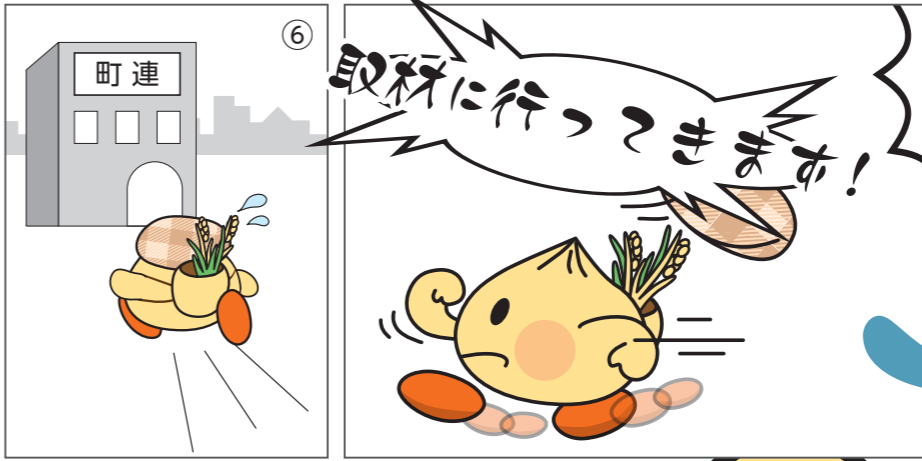
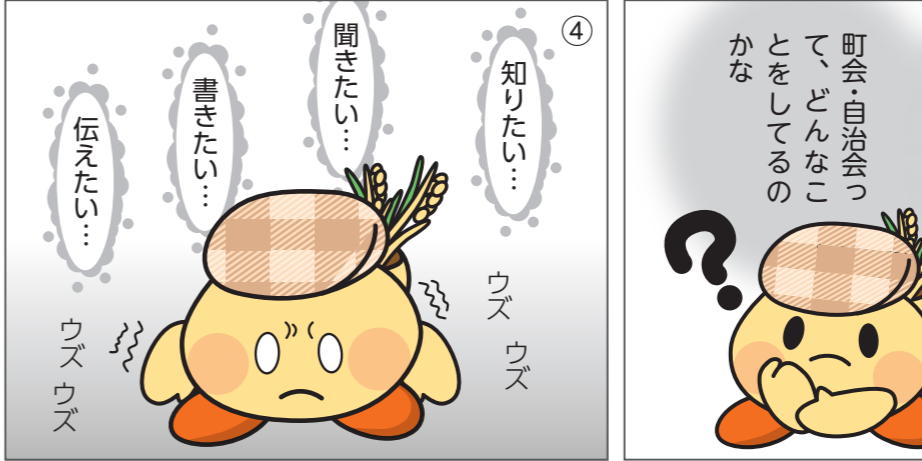
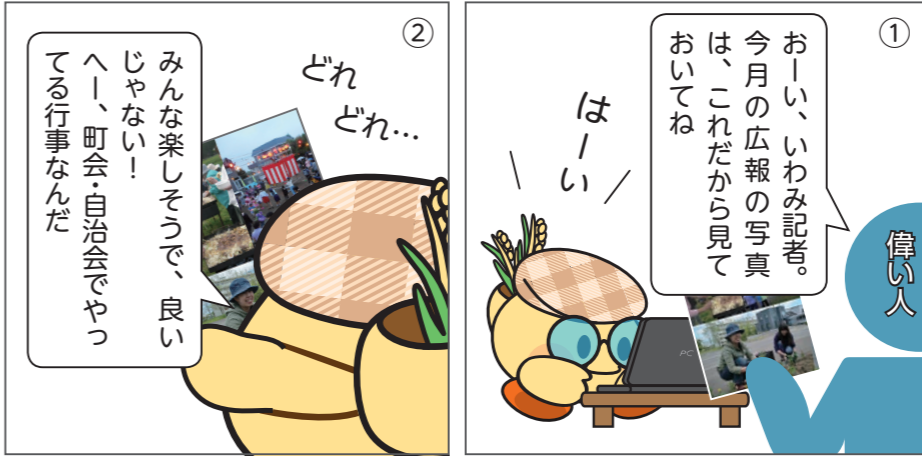


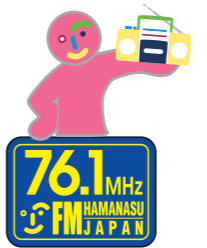
緊急取材 町会・自治会を追え

ここは、市役所の広報係。広報紙編集の真っただ中のこの日。いわみ記者も一生懸命作業をしています。ところが…



いわみ記者が、町会・自治会のことを知りたくなって、取材に飛び出してしまうした。向かった先は、岩見沢市町会連合会（以下「町連」）。そこで、町連会長の千葉修さんに、町会・自治会の活動や課題など、いろいろなお話を聞いてきたようです。今月号は、その様子を皆さんにお伝えします。

問合先 市民連携室



町連役員が出演して説明します
10月12日(金) 午後5時40分

町会・自治会 そして町連



町会・自治会ってよく聞けど、どんな組織なんですか？

町会・自治会は、その地域に暮らす皆さんが、ふれあいの場を作り、困った時に助け合い、支え合いながら、快適で住み良いまちをつくるために組織された、自主的な任意団体です。現在、217の町会・自治会があり、設立してから70年以上にもなるところもあるんです。

町連というのは？

それらの町会・自治会の連合体として、昭和41年に42の町会が加入し

住み良い地域 づくりのため



町会・自治会はどんな活動を？

各地域の特色や個性を活かしながら、皆さんの生活に関わる、いろいろな活動をしています。

主に「地域のふれあいの場づくり」「安全・安心なまちづくり」「快適で住み良いまちづくり」行政や関係諸団体との連携の四つに分類される活動ですね。

なるほど、では「地域のふれあいの場づくり」というのは具体的に？

盆踊りや夏休みのラジオ体操、子ども会のクリスマス会や老人クラブのサークル活動、他にもお祭りやスポーツイベントなど、地域の皆さんが交流する場をつくり、隣近所に住む人の顔が見える関係をつくっています。イベントとなると、どうしても役員に苦勞をかけること



になります。役員も一緒に楽しむことで、より参加しやすいイベントになるよう心掛けています。

盆踊りやラジオ体操は、夏の風物詩ですよ。次に「安全・安心なまちづくり」は？

夜道を明るく照らしている街路灯の設置・管理は町会・自治会でやっているんですよ。災害に備えた防災訓練や交通安全・防犯パトロールなど、地域の皆さんが安全に、そして安心して暮らせるよう、いろいろな活動をしています。

え!?街路灯の管理は知らなかったです。暗い道はとも怖いので助かっています。次の「快適で住み良いまちづくり」というのは？

皆さんが普段使っている、ごみス

テーションの設置や清掃、子どもたちが遊んでいる公園の管理、それと花壇の花植えなども行っています。また冬期間に、皆さんの頭を悩ませる雪ですが、生活道路にたまった雪の除排雪も町会・自治会で独自に実施しています。

ごみステーションや公園などはなくてはならないものですよね。最後に「行政や関係諸団体との連携とは？」

道路のデコボコを直してほしいなどの道路整備や生活環境をよくするための提案など、地域の皆さんの意見や要望を取りまとめ、市へ要望を行っているほか、いろいろな会議にも参加しています。また、市や関係団体などからの資料の配布、情報の提供もあり、会員の皆さんは回覧文書などで、その情



岩見沢市町会連合会 会長 千葉修さん

報を速やかに受け取ることができません。この広報いわみざわも、町会・自治会で配っているんですよ。

地域で協力し、助け合おう



いろいろなことをしているんですね。でも、なぜ町会・自治会でやっているんですか？

ごみステーションの維持・管理や防災・防犯、道路・公園の環境整備、高齢者や子どもの安全などに関する問題は、個人や家庭では解決するのが難しい問題です。

また、これらの問題に関する住民のニーズは多様化・複雑化し、行政だけで対応することが難しくなっています。

取材メモ

- ◎ 地域のふれあいの場
 - ・お祭りにスポーツイベント
 - 【人の顔が見える関係】 盆踊り ラジオ体操!!
- ◎ 安全・安心なまち
 - ・防災訓練 交通安全 防犯
 - ↳ 街路灯管理
- ◎ 快適で住みよいまち
 - ・ごみステーション
 - ・公園・花だん
 - ・冬は道路の除排雪(独自)
- ◎ 行政・関係諸団体と連携
 - ・みんなの意見を聞く → 要望
 - ・情報を回覧文書で
 - ↳ 広報も!!

災害が起きた時は、みんなが混乱すると思います。お互いを知っていたり、理解し合えたりしていることで、お互い様の精神で助け合えるのできる雰囲気を作っておくことが大切だと考えています。

活動を 知ってほしい



今抱えている、町会・自治会の課題はありますか？

まず、町会・自治会の加入率低下、そして会員の高齢化、役員のなり手不足、活動への参加者減少、若い方の関心の薄さなど、深刻な問題に直面しており、安定した運営や活動の充実を図ることが難しくなっています。

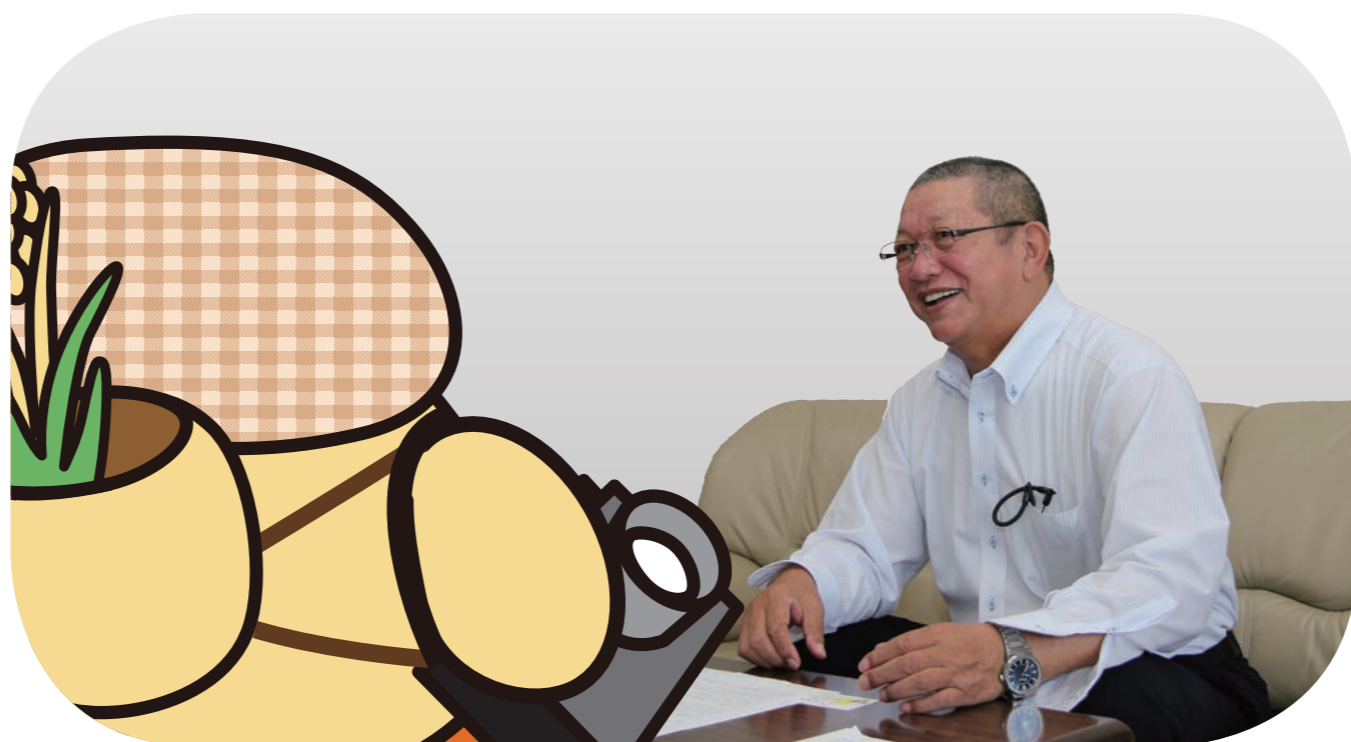
この状況を改善するため、各町会・自治会では、引越してきた人や未加入者へ、加入案内やイベント参加の声かけなどを積極的に行っていきます。また町連でも、役員が安心して活動できるように、今年度から新任者向けの町会長研修会

取材メモ

- ◎ 住民ニーズの多様化 → 行政でできないことを!
- 行政で(ニーズ) → 町会・自治会で
- ◎ 災害の時は、地域での助け合い(共助)
- 災害発生!! → 助け合いが必要 周りに知り合いがいれば、心強い!!
- 災害に備えて... 自主防災組織(地域で助け合い)
- 【課題】
 - ・加入率低下
 - ・高齢化
 - ・役員のなり手不足
 - ・活動参加者減少
 - ・若者の関心薄い
- 地域のイベント、活動に参加してほしい。
- 活動を知ってもらう
- 地域の人を知る
- 自分を知ってもらう

最後に、皆さんに伝えたいことは？

ぜひ、盆踊りなどの地域のイベントや清掃活動など、どのようなことでも良いので、気軽に参加してもらいたいのです。そうすることで、皆さんに町会・自治会の活動を知ってもらえるとともに、地域の人を知ることができ、自分のことも知ってもらえると思います。



おり、地域をより良いものにしていくためには、そこに住む人たちが、地域のことを考え、協力し、助け合うことが必要となっています。

その主体となるのが町会・自治会で、日頃から地域が一体となって、パトロールなどの防犯活動や一人暮らしの高齢者の見守り、子ども会を通じた地域での子育てなどを行い、地域の安全・安心を支えています。

一人暮らしの高齢者の見守りとありましたが、高齢者に限らず、地域で孤立するということは？

昔はよく「向こう三軒両隣」などといって、隣近所の人と毎日のように顔を合わせていて、「今日は見ないな」という人がいたら、玄関先から「大丈夫かい」と声をかけ、具合

いが悪い場合には、病院まで連れて行ったという話も聞きました。

しかし、インターネットや携帯電話などが普及したことで、地域の人のコミュニケーションを取らなくなった人が増えたように感じます。離れて住む友人などと、常にコミュニケーションが取れるようになってきたことで、本人は孤立していると感じていないと思えますが、地域の中では孤立してしまっているのではないのでしょうか。

玄関先で会っても挨拶をしない、隣に住む人の顔も分からないとなると、万が一の時に、地域の中の助け合いが難しくなってしまう。

追加取材

9月6日未明に発生した北海道胆振東部地震、の時には、次のような活動が行われました。

- 多くの町会・自治会で、地震発生後に役員が地域を見回り、建物の倒壊や安否確認のパトロールを実施
- 近くに親族がいなくて、具合が悪くなってしまった方のそばで、ずっと付き添いをした など

今回の地震で、近所に知り合いがいる心強さを実感した方も多いのではないのでしょうか

確かに、災害が起きた時、周りに知り合いがいると心強いですよ

災害が発生した際、被害を最小限にするためには、自分の身を自分で守る。自助、身近な人たちがお互いを助け合う。共助、行政が支援する。公助、のそれぞれが役割を果たすことが大切です。町会・自治会は、この中の「共助」の役割を担っています。

いつ発生するか分からない災害に備え、町会・自治会には自主防災組織というものがあります。これは地域住民による自主的な防災組織です。また、自力で避難することが困難な人の避難を支援する制度(詳しくは10ページ)にも協力しており、地域で助け合える体制づくりを進めています。

町会・自治会は、自分たちのまちを住み良いまちにするため、生活環境の整備や福祉の向上などの地域課題に取り組み組織として、市民生活に直結した重要な役割を担っています。つまり、皆さんの今の生活は、町会・自治会に支えられているとも言えます。

そして、町会・自治会への参加は、地域の人との交流や、災害の時の心強さにもつながります。皆さんも、まずは地域のイベントなどに参加することから始めてみましょう。

加入方法など詳しくは、岩見沢市町会連合会事務局(市民連携室内)まで、お気軽にお問い合わせください。

今から特集記事... 大変だあ

えっ!?

このぼくたちの生活は、町会・自治会に支えられているんだなあ。

おい。いわみ記者 うん うん

偉い人

せっかく取材してきたから、今月の特集は、町会・自治会ね

でも!

この記事で、たくさんの方が、町会・自治会に興味を持ってもらえるように、頑張るぞ!